

2017年3月1日

株式会社 KADOKAWA

KADOKAWA GEMPAK STARTZ SDN BHD

KADOKAWA がマレーシアで、訪日旅行者向けの 定期刊行誌「JapanWalker マレーシア」を創刊

株式会社 KADOKAWA（東京都千代田区、代表取締役社長：松原真樹 以下 KADOKAWA）の海外拠点である KADOKAWA GEMPAK STARTZ SDN BHD（マレーシア クアラルンプール、Managing Director：Chris Yew 以下 KGS）は、訪日旅行者向けに、日本の最新情報などを紹介する雑誌「JapanWalker マレーシア」を2月28日に創刊いたしました。

KADOKAWA は、国内5地域で、エリア情報誌「Walker」シリーズを定期刊行し、WEB「Walkerplus」、アプリ「WalkerTouch」といった様々なメディアで、エリア情報を配信しております。また、アジア各地でも日本の Walker と各海外拠点の編集部が連携し、雑誌、WEB といったメディアや現地でのイベント開催など、さまざまな形でのインバウンドビジネスを手掛けてきました。台湾、香港、中国でのメディア事業に続き、訪日客が増えている東南アジア圏にも進出し、まずはマレーシアにおいて、これまでのノウハウ、現地法人のリソースとネットワークを活かして、さらなる訪日インバウンドビジネスの増大を図ってまいります。

マレーシアで創刊となる訪日情報誌「JapanWalker マレーシア」は、現地のニーズに合わせて、英語版とマレー語版の二版で刊行いたします。また英語版においては、シンガポールでも販売の予定です。これまでの台湾・香港・中国で展開してきた情報誌作りのノウハウを継承し、現地編集スタッフが、現地の読者視点に立って、記事を編集し、読者の興味を引き出して、訪日観光を促進します。マレー語版では、多くの旅行者が求めている、ムスリム情報もカバーし、旅行者が不安なく旅行できるようサポートいたします。



【媒体概要】

- 誌名 JapanWalker マレーシア マレー語版 / 英語版
- 発行部数 マレー語版 30,000 部、英語版 30,000 部
※発行地区：マレーシア（45,000 部）、シンガポール（15,000 部）
- 創刊 2017 年 2 月
- 発行日 季刊（2 月・4 月・7 月・11 月）発売予定
- 予価 RM18（約 450 円）、SGD9.90（約 790 円）※全て税込み
- 判型（予定）A4 変型判（270×200mm）
- 仕様 平綴じ/左開き/130P
- 本文印刷 オールカラー
- 表記言語 マレー語・英語
- 発行元 KADOKAWA GEMPAK STARZ SDN BHD

■特集方針（マレー語版/英語版共通）

発行時期の季節に合わせた特集を掲載。1年を通じて湿気があり、とても暑いマレーシアでは、日本の四季を体験することに大きな魅力と価値を見出しています。そこで、第1特集では日本旅行で一番の魅力を感じてもらっている「季節もの+観光」に焦点を当てます。季節に絡めた食文化も発信します。第2特集では、マレーシア人が興味をもつ“祭り”“伝統行事”などに触れながら、日本のカルチャーを紹介します。

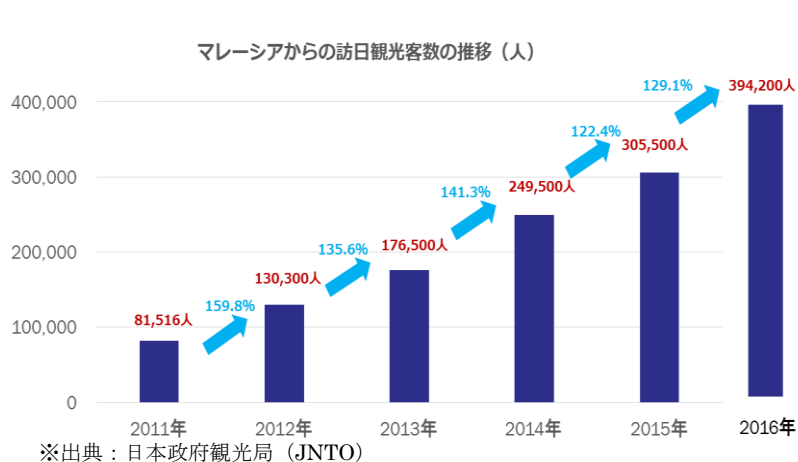
	季節+観光	日本カルチャー
夏 (4月号)	<ul style="list-style-type: none"> ●ビーチで夏を満喫！ ●日本のひんやりフードで涼をとろう。 (かき氷、そばなど) ●夏だからこそ「沖縄」へGO！ *（英語版のみ）ピアガーデン 	<ul style="list-style-type: none"> ●花火大会（全国） ●祇園祭（京都） ●サマーコミケ（東京） <p>など</p>
秋 (7月号)	<ul style="list-style-type: none"> ●絶景！行くべき日本の紅葉スポット ●食欲の秋！絶品秋グルメ (松茸ご飯、サンマ、栗、スイートポテトなど) ●フルーツ狩り ●小さな秋を見つけに、高尾山へ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●時代祭（京都） ●和太鼓フェスティバル（博多） ●秋ランタンフェスティバル（長崎） ●東京ゲームショー（東京） <p>など</p>
冬 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> ●ロマンティック*イルミネーション ●一度は見ておきたい、奇跡の雪景 (雪の大谷、スノーモンキーなど) ●あったか鍋で心も体もほっこり♡ 	<ul style="list-style-type: none"> ●札幌雪まつり（札幌） ●初詣（全国） ●年末年始特売セール（全国） ●福袋 <p>など</p>

※特集ラインナップは変更が生じる可能性があります。

また、台湾・香港・中国でも実施してまいりました、現地に合わせた手法で、各企業様や自治体様とタイアップした観光プロモーションや食材、文化のプロモーションイベントなども開催していく予定です。

■マレーシア市場について

2016年は過去最高の394,200人が訪日し、前年比129.1%の伸び率



マレーシアから日本への訪日観光客は平均年率130%程度の増加傾向にあり、2016年は過去最高の394,200人が訪日し、前年比129.1%の伸び率となる。2011年比で483%の伸び率にあり、今後も訪日旅行者の増加が見込める。個人旅行者も多く、自ら旅をアレンジする傾向が強いのも特徴。

■KADOKAWA GEMPAK STARTZ SDN BHD とは

当社の 100%子会社である KADOKAWA HOLDINGS ASIA Ltd が 80%の株を保有するマレーシアのグループ会社です。社内クリエイターによる自社コンテンツ IP の開発力に強みを持つマレーシアのコミック・児童書等の出版大手であり、子供向け学習マンガ等をはじめとする人気シリーズタイトルを自社 IP として多数保有し、主にマレーシア国内向けにマレー語、中国語、英語の 3 カ国語で同時展開しています。

当社のノウハウを活用し、既存コンテンツ IP の映像化、マーチャンダイジング、ゲーム化、デジタル化等のメディアミックス展開、あるいはインドネシアをはじめとする近隣の東南アジア諸国、中華・英語圏市場等のマレーシア以外の海外市場への展開などを目的に、2015 年に KADOKAWA グループ入りを行いました。今回の訪日メディア事業も新規事業として KADOKAWA がサポートを行い、事業展開いたします。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 KADOKAWA 広報課 pr-dept@kadokawa.jp

オフィシャルサイト <http://www.kadokawa.co.jp/>